

舞鶴最先端サイエンス研修

12月12日(水)～14日(金)、グローバルサイエンスの目玉となるフィールドワークの一つである、舞鶴最先端サイエンス研修を実施しました。この研修の目的は、科学研究機関での研修や大学での講義の聴講、大学院生との交流等を通して、

- ①科学技術に対する理解を深め、科学的リテラシーを養うこと
- ②科学的な見方や考え方、分析方法や研究手法を学び、課題研究に向けた素養を育成すること
- ③サステナビリティについて、理解を深めること



にあります。生徒の関心は非常に高く多数の参加希望がありましたが、今年は12名での参加となりました。行程の概略は以下の通りでした。

- | | | | | | | | |
|---------------|---------------|---|-------------|---|-------------|---|--------|
| 1日目(12/12, 水) | 鹿児島空港 | → | 羽田空港 | → | 東京大学(講義聴講等) | → | 筑波にて宿泊 |
| 2日目(12/13, 木) | JAXA 筑波宇宙センター | → | 理化学研究所筑波事務所 | → | 筑波大学(交流等) | → | 都内にて宿泊 |
| 3日目(12/14, 金) | 国立科学博物館 | → | 羽田空港 | → | 鹿児島空港 | | |

生徒の感想から(すべて抜粋)

1 東京大学

- ・ワークショップのテーマとなった「自然の恵み」と食・エネルギーについて先生がお話しされた時、「持続可能な開発」という目標で、私たちが「すべきこと」「できること」「したいこと」を考えたりした。

2 JAXA

- ・日本の人工衛星の歩みに関する解説を聞き、歴史のロマンを感じた。



3 理化学研究所

- ・「マウス」「植物」「細胞」「微生物」「遺伝子」の5つのリソースの保存数は、全部世界トップ3に入っており、しかもこの5つを扱っているのは世界でBRC(バイオリソース研究センター)だけと知り驚いた。

4 筑波大学

- ・動物や生物の特性を利用して他の生物を駆除するといった研究に興味を持った。また、多くの外国の学生さんと1つの目標に向かって努力している姿が楽しそうで、格好良いと思った。

5 国立科学博物館

- ・岩石のブースには、鹿児島で採れる岩石も展示しており、自分が岩石採集で採取できなかった大隅石や鈴山の岩石など、貴重な石が多くて感動した。



東京大学・低炭素社会ポスター



JAXA施設の見学



筑波大学・研究発表の様子

生徒たちは、最先端の科学研究に触れ、大変刺激を受けた様子でした。その成果を、行けなかった生徒たちにも還元しながら、ともに科学やサステナビリティについて考え、課題研究に取り組んで欲しいと思います。「自然の恵み」に満ちあふれている霧島に生活していることを強みとして生かしましょう。